

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

<p>実践年度・タイトル</p>		<p>平成 30 年度 みんなであそぼう～色々なゲームをしよう～</p>
<p>授業について</p>	<p>教科名等</p>	<p><input type="checkbox"/>国語 <input type="checkbox"/>社会 <input type="checkbox"/>算数/数学 <input type="checkbox"/>理科 <input type="checkbox"/>生活 <input type="checkbox"/>音楽 <input type="checkbox"/>図画工作/美術 <input type="checkbox"/>家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/>体育/保健体育 <input type="checkbox"/>特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/>外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/>総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/>特別活動 <input checked="" type="checkbox"/>自立活動 <input checked="" type="checkbox"/>各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/>その他の教科 <input type="checkbox"/>その他( )</p>
	<p>単元・題材名</p>	<p>自立活動「みんなであそぼう」</p>
	<p>授業の目標</p>	<p>・友達と一緒に、一連の活動に対し、最後まで取り組み続ける。 ・相手の簡単な質問を聞いて答える。</p>
	<p>学力の3要素</p>	<p>■「知識及び技能」 ■「思考力・判断力・表現力等」 ■「主体的に学習に取り組む態度」</p>
<p>学習集団と子供の実態</p>	<p>学校・学部・学年・人数</p>	<p><input type="checkbox"/>通常の学級 <input type="checkbox"/>通級による指導 <input type="checkbox"/>特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/>特別支援学校 <input type="checkbox"/>就学前 <input checked="" type="checkbox"/>小学生 <input type="checkbox"/>中学生 <input type="checkbox"/>高校生以降 <input type="checkbox"/>特定されない 小学部1～6年 5人</p>
	<p>対象の障害</p>	<p><input type="checkbox"/>視覚障害 <input type="checkbox"/>聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/>知的障害 <input type="checkbox"/>肢体不自由 <input checked="" type="checkbox"/>病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/>言語障害 <input checked="" type="checkbox"/>自閉症 <input type="checkbox"/>情緒障害 <input type="checkbox"/>LD(学習障害) <input type="checkbox"/>ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/>その他</p>
	<p>子供の困難さ</p>	<p>■見ること ■聞くこと ■話すこと ■読むこと <input type="checkbox"/>書くこと <input type="checkbox"/>動くこと ■コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/>気持ちを表現すること ■落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/>概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/>学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/>その他 知的障害を伴うダウン症候群のある小学部6年男児(愛の手帳2度、ピナーV CA: 9-2 MA: 2-9)。 明瞭な言葉で話すことや指示を聞いてその通りに行動することへの課題や、人に対し不適切な行動をとってしまうことがあるが、役割活動や集団活動は好きで意欲的に参加できる。</p>
<p>支援機器等教材の活用について</p>	<p>活用の意図</p>	<p>Aコミュニケーション支援(■A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/>A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/>B1情報入手支援 ■B2機器操作支援 <input type="checkbox"/>B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/>C1教科学習支援 ■C2認知発達支援 ■C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/>D1実態把握支援)  ○大型モニター、タッチパネルモニターを接続したPCを使い、手元で操作した内容が全体に共有できるようにする。 ○選択したイラストがモニターに大きく表示される「問題」スライドと、「回答」を手元で取るかるたカードを使用する。</p>
	<p>使用した支援機器等教材の名称と画像</p>	<p>○大型モニター ○タッチパネルモニター ○PC</p> 
<p>授業展開</p>	<p>授業展開・支援の手立て</p>	<p>タッチパネルを使ったゲームを繰り返し取り組むうちに、活動の流れを理解し、ほぼ一人で進行することができるようになった。説明や問題の単語も明瞭になってきている。さらに、得点数えなど、苦手さから敬遠していた「数」の学習にも積極的に手を挙げ取り組むようになった。また、後期は、下級生と出題と回答を役割交代し、やり取りを楽しみながら参加する姿が見られる。</p> 
<p>効果・評価</p>	<p>子供の様子や変容および授業の評価</p>	<p>大型モニターに画像が表示されることで、児童全員が興味をもち注目することができた。そのため、児が手元で操作しながら出題する問題に、他児がすぐに反応して回答でき、画面を介した即時のやりとりが成立した。 言葉や認知面から友達とのやりとりに困難が生じやすい児にとって、このような機会を設定することで、友達とやりとりする活動に自ら参加しようとする意欲を高め、そこから先の言葉や数の学習へと繋げることが可能となると考える。</p>